

オーバルニットルームでつくる ハロウインの飾り



デザイン/やまざき くにえ

<使用道具>

オーバルニットルーム
クロバーハンドメイド<フェルト用>

カットワークはさみ115

とじ針No.17

(※ビーズの穴に通るサイズをご用意ください)

<材料>

【本体用】

並太毛糸 オレンジ 約15g

フェルト 黒 8×6cm

手芸用綿 適宜

ボール紙 11×7cm

リボン(8mm幅) 25cm

【飾り用】

並太毛糸 オレンジ 約50cm 3本

並太毛糸 お好みで3色程度 約50cm 7本

フェルト お好みで4色程度 4.5cm角 7枚

(キャンディを毛糸で作る場合は、1mの毛糸を7本)

ビーズ(12mm) 7個

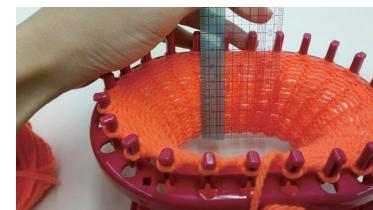
<作り方>

1・編み地を作る

①オーバルニットルーム商品付属の使い方説明書「基本の編み方」の通りに作り目をします。

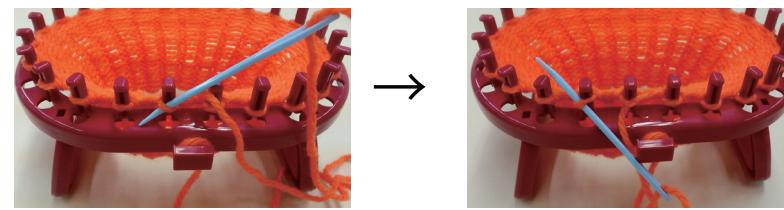
この時、糸端を50cmほど残して作り目を始めてください。

表編みを編んでいきます。編み地の長さが約6cmになるまで編みます(約21~23段)。



編み地の長さはこのように測って約6cmです

②糸端を約50cm残してカットし、とじ針を使ってオーバルニットルームにかかっている編み目に1目ずつ通します。



編み目にとじ針を入れて糸を通す

左方向へ順番に糸を通す

③全ての編み目に糸を通したら、編み地をオーバルニットルームから外し、糸端を引き絞ります。

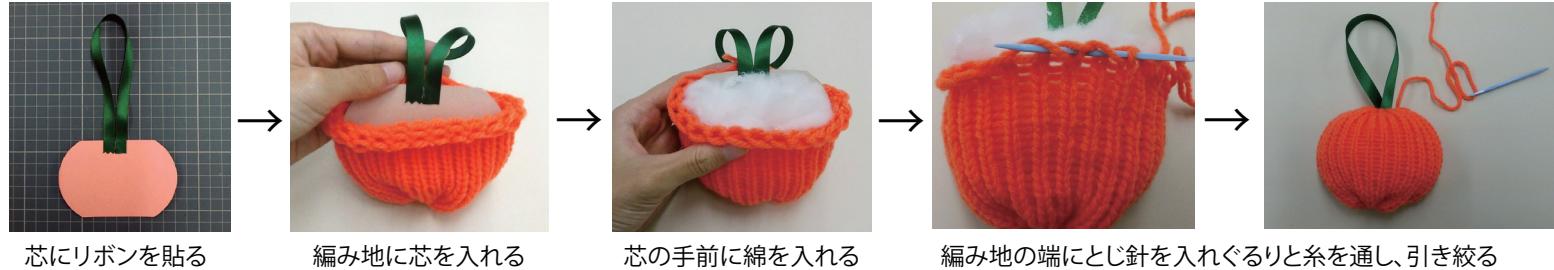
糸端は、穴を閉じるように数針糸を通してから始末します。



この穴を閉じるように
数針糸を通す

2・本体を作る

- ①実物大型紙を使ってボール紙をカットし、本体の芯を作ります。リボン(25cm)を半分に折り、ボンドで芯に貼り付けます。
- ②編み地に①の芯を入れ、片面に綿をつめます。
- ③最初に残しておいた糸端をとじ針に通し、編み端を縫い絞ります。絞った部分がゆるまないように編み地に数針糸を通し、始末します。



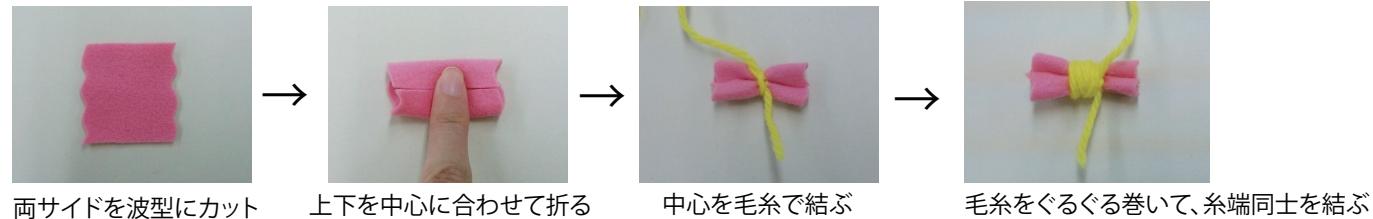
- ④実物大型紙を使ってフェルトをカットし、顔のパーツを作り、編み地にボンドで貼り付けます。

3・キャンディを作る

キャンディは、フェルトで作る方法と毛糸で作る方法がありますが、どちらかお好みの方法で7個作ります。

【フェルトで作る場合】

- ①フェルト(4.5cm角)の両サイドを波型にカットします。
- ②フェルトの上下を中心にはり合わせて折り、毛糸(50cm)で中心を結びます。結ぶ時に、片方の糸端が約5cmに、もう片方が長く残るようにします。
- ③長い方の糸端を巻き付けます。糸端の残りが約5cmになったら、②で結んだ時の短い方の糸端と結びます。
ほどけないようにもう一度結び、結び目にボンドを付けて糸端は短くカットし、キャンディが1個完成です。
同じものを7個作ります。



【毛糸で作る場合】

①指2本に毛糸(1m)を巻き、指から外して、フェルトで作る場合と同様に中心を別の毛糸(50cm)で結び、巻き付けて作ります。同じものを7個作ります。



4・仕立てる



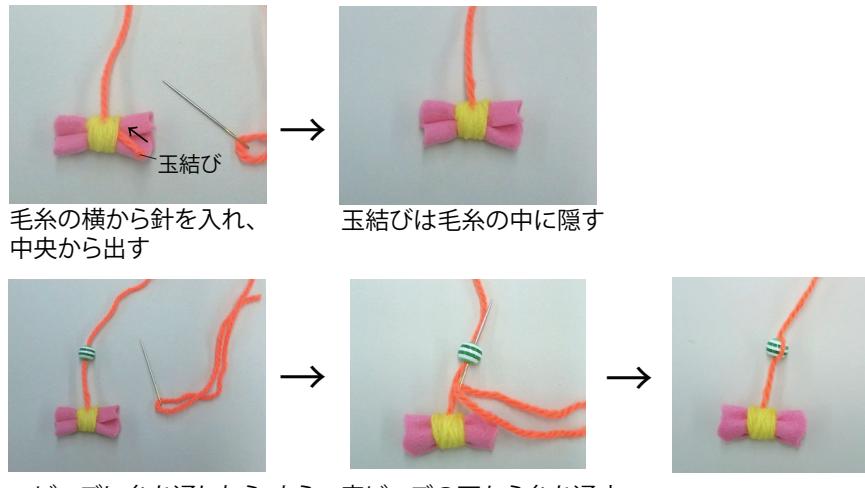
①飾りを3本作ります。まず中央の長い飾りを作り、両脇の飾りはキャンディが重ならないようにバランスを見ながら作ります。

毛糸(約50cm)をとじ針(ビーズの穴に通るサイズのもの)に通し、大きめの玉結びをします。

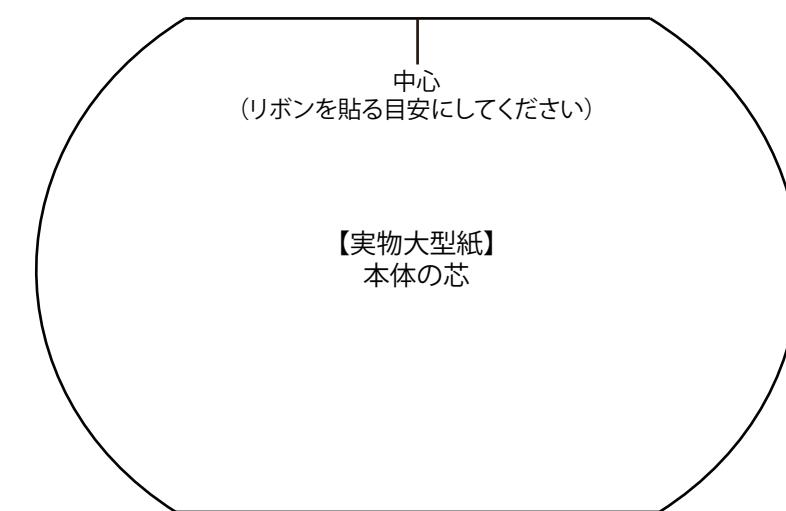
写真のように、リボンの中心に針を入れ、玉結びはリボンの中心の毛糸の中に隠します。

ビーズを通す時は、写真のように一度ビーズの穴に糸を通して、もう一度ビーズの下から糸を通して位置を固定します。

左の画像を参考に、キャンディとビーズを交互に糸に通します。



②飾りができたら本体の編み地にとじ針でぬい付け完成です。



【実物大型紙】
顔のパーツ



クロバー株式会社

オーバルニットルームでつくるハロウィンの飾り 3-3